

令和6年度の事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人
みんなで子育てドロップス

1 事業の成果

一昨年度、昨年度と、全国の人口3～5万人のまちの中で、恵那市が一番住みたい田舎に選ばれた。宝島社が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』が、毎年人口規模別の「一番住みたい田舎」ランキングを発表している。昨年度で13回目を迎えた「一番住みたい田舎」ランキングの結果をまずはご覧いただきたい。

2年連続の総合部門「日本一」は画期的なことだが、中でも「子育て世代部門」が2年連続日本一で、この点数によって総合一位になったと言っても過言ではない。

しかしながら昨年度の恵那市の出生数はあまりにも少なく悲しい限りだった。これは若年層の転出が止まらないことが原因かもしれない。下図に示したチャートはそのことを物語っている。

このチャートは、令和6年3月に行った若者に対する意識調査の結果である。中学2年生、高校2年生を対象としたこの調査結果を見る限り、多くの若者は、将来恵那市で働きたくもなく、住みたくなもない、という極めてショッキングなデータである。データをよく見ると、中2よりも高2の方がその傾向が強く、進路決定が迫った状況で真剣に考えた結果がこれだとなると、早急な打開策を講じる必要性を感じざるを得ない。また、将来恵那で働きたくもなく住みたくなもない理由は、決して「不便だから」ではない。若者にとって、恵那は将来性の乏しい、夢のない地域なのかもしれない。せつかく良好な子育て環境を整備しても、成長した若者に見捨てられるとしたら、一体どうしたらいいのか。

もちろんいわゆる少子化は恵那に限ったことではなく全国的な傾向である。また、昨年度人口が増えた都道府県は首都圏の東京、埼玉の2都県に限られている。今や、都会を目指す田舎の若者 VS 田舎を目指す都会の若者という奇妙な対立構造が生まれているとも言える。もちろん都会の若者全てが田舎嗜好というわけではなく、若者の20～30%が田舎嗜好と言われているが、そもそも都会に人口が集中しているため、その数は膨大である。

転換点を迎える時代の中で、田舎に住む我々がまずやらねばならないのは、多様な価値を認めることだろう。都会から来る若者や外国人等、これまでの常識では理解し辛い人たちが田舎を目指している。であれば、その人たちの価値を受け入れる素地がまずは必要であろう。

事業の成果の詳細は「令和6年度総合事業報告書」に記したのでそちらを参照していただきたい。

特定非営利活動法人みんなで子育てドロップス 理事長 駒宮博男

【 「一番住みたい田舎」ランキング（『田舎暮らしの本』（宝島社））より 】

★人口3万人以上5万人未満の市（2023年度）

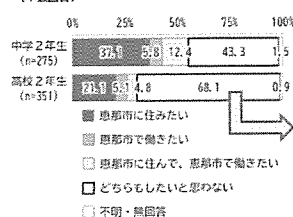
総合部門	若者世代・単身者部門	子育て世代部門	シニア世代部門
第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市
第2位 大分県臼杵市	第2位 富山県氷見市	第2位 長崎県五島市	第2位 大分県臼杵市
第3位 鳥取県倉吉市	第3位 熊本県菊池市	第3位 鳥取県倉吉市	第3位 鳥取県倉吉市

★人口3万人以上5万人未満のまち

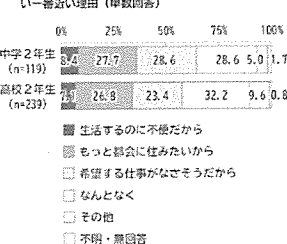
総合部門	若者世代・単身者部門	子育て世代部門	シニア世代部門
第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市
第2位 岐阜県雲南市	第2位 山口県萩市	第2位 長崎県五島市	第2位 大分県臼杵市
第3位 山口県萩市	第3位 長崎県五島市	第3位 熊本県菊池市	第3位 長崎県五島市

【 令和6年3月 恵那市若者意識調査から抜粋 】

■将来、恵那市に住みたい、恵那市で働きたいと思うか
(単数回答)



■将来、恵那市に住みたい、恵那市で働きたいと思わない一番近い理由 (単数回答)



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
依頼者と協力者による相互育児支援事業 (市受託事業)	ファミリーサポート事業			5,602
	ファミリー・サポート・センター事業	(A) 通年 (B) ファミリーサポートセンター事務所 (C) 6名	(D) 登録会員 (E) 1002人	5,407
	ファミリー・サポート・センター事業(研修会・交流会等)	(A) 研修年1回24時間・交流会年3回・専門家会議年1回 (B) 主に団体事務所 (C) 6名	(D) 登録会員他サポーター市民 (E) 1002人	195
臨時保育室の開設及び運営による事業	託児事業(中央コミセン・臨時託児室・その他)	(A) 随時 (B) 主に子ども元気プラザ (C) 4名	(D) 子育て中の保護者 (E) 延べ0名	33
障がい福祉サービス事業	移動支援事業(地域生活支援事業)	(A) 通年 (B) 受益者の希望する場所 (C) 2名	(D) 恵那市民 (E) 延べ0名	0
上記をサポートするための事業	子どもの居場所等相談機能強化事業			1,250
	相談支援事業	(A) 相談事業:随時、毎週火曜は7時まで (B) 主に団体事務所 (C) 4人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 延べ39名	1220

	学習支援『みんなの家』	(A) 毎週水曜日 (B) 主に団体事務所 (C) 3人	子育て中のひとり親等の生活困窮家庭 (E) 延べ180名	30
上記をサポートするための事業	フードパントリー事業			2,280
	フードパントリー自主事業(寄付金)	(A) 12回(毎月第3木曜日12回) (B) キーポイント (C) 9人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 102世帯	63
	ひとり親家庭子供食事等支援事業(むすびえC)	(A) 9月～1月第3木曜日 (B) キーポイント (C) 9人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 102世帯	150
	ひとり親家庭子供食事等支援事業(むすびえB)	(A) 9月～1月第3木曜日 (B) キーポイント (C) 9人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 102世帯	1002
	こども宅食助成金事業	(A) 9月～1月第3木曜日 (B) キーポイント (C) 9人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 102世帯	567
	ポポロ助成金事業	(A) 9月～1月第3木曜日 (B) キーポイント (C) 9人	(D) 子育て中のひとり親家庭及び生活困窮家庭等 (E) 102世帯	498
上記をサポートするための事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業	(A) 通年 (B) 利用者の自宅・公共施設 (C) 4人	恵那市民 子育て中のひとり親等の家庭 (E) 延べ0人	0

子育て支援等 に関する政策提 言事業	子ども子育て会議・恵那市図 書館協議会等 外部の委員会や他団体の講 演会	(A)子ども子育て 会議：年4回 図書館：年4回 他は不定 (B)市役所会議 棟・図書館等 (C)1人	恵那市民 子育て中のひと り親等の家庭 (E)不特定多数	0
広報啓発事業	寄付金活動 ホームページ修 正・変更	(A)通年 (B)イベント会場・ 事務所 (C)2名	恵那市民 子育て中のひと り親等の家庭 (E)不特定多数	0

(2) その他の事業
なし

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 みんなで子育てドロップス

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 15,000

【受取寄付金】

受取寄付金 217,652

【受取助成金等】

受取助成金 2,214,000

【事業収益】

受託事業収益 6,743,178

【その他収益】

受取 利息 1,543

経常収益 計

9,191,373 ✓

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業) 5,283,072

通 勤 費(事業) 356,596

人件費計 5,639,668 ✓

(その他経費)

食材支給費(事業) 1,651,677

物品支給費(事業) 51,164

諸 謝 金(事業) 237,716

印刷製本費(事業) 36,295

会 議 費(事業) 2,080

旅費交通費(事業) 120,615

通信運搬費(事業) 363,561

消耗品 費(事業) 112,000

事務用品費(事業) 88,487

水道光熱費(事業) 32,975

地代 家賃(事業) 576,000

保 險 料(事業) 226,480

租税 公課(事業) 12,000

研 修 費(事業) 3,041

支払手数料(事業) 3,740

雑 費(事業) 8,120

その他経費計 3,525,951 ✓

事業費 計

9,165,619

【管理費】

(人件費)

法定福利費 7,387

人件費計 7,387 ✓

(その他経費)

印刷製本費 30,930

通信運搬費 1,042

事務用品費 110

地代 家賃 144,000

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

NPO法人 みんなで子育てドロップス

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

諸 会 費	5,000	
支払手数料	100,771	
雑 費	<u>1,375</u>	
その他経費計	<u>283,228</u> ✓	
管理費 計		<u>290,615</u> ✓
経常費用 計		<u>9,456,234</u> ✓
当期経常増減額		<u>△264,861</u> ✓
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		<u>△264,861</u>
当期正味財産増減額		△264,861
前期繰越正味財産額		<u>1,245,795</u> ✓
次期繰越正味財産額		<u><u>980,934</u></u>

貸借対照表

NPO法人 みんなで子育てドロップス
全事業所

[税込] (単位:円)
令和 7年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	242,686		
小口 現金	8,575		
普通 預金	<u>1,198,666</u>		
現金・預金 計	<u>1,449,927</u> ✓		
流動資産合計		<u>1,449,927</u> ✓	
資産合計			<u><u>1,449,927</u></u> ✓

《負債の部》

【流動負債】			
未払 費用	440,651		
預 り 金	<u>28,342</u>		
流動負債合計		<u>468,993</u> ✓	
負債合計			468,993 ✓

《正味財産の部》

前期繰越正味財産	1,245,795	✓	
当期正味財産増減額	<u>△264,861</u>		
正味財産合計			<u>980,934</u> ✓
負債及び正味財産合計			<u><u>1,449,927</u></u>

財 産 目 録

NPO法人 みんなで子育てドロップス
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和7年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金

242,686

小口 現金

8,575

普通 預金

1,198,666

ゆうちょ銀行

105

十六銀行

0

東農共同組合

1,198,561

現金・預金 計

1,449,927 ✓

流動資産合計

1,449,927

資産合計

1,449,927 ✓

《負債の部》

【流動負債】

未払 費用

440,651

(株)パーソナル 会計事務費

100,000

3月人件費 ファミリサポート

340,651

預 り 金

28,342

流動負債合計

468,993 ✓

負債合計

468,993 ✓

正味財産

980,934

前事業年度の年間役員名簿
2024年4月1日から2025年3月31日まで
特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス

役名	氏名	住所または居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	駒宮 博男 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	田口容子 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	上野妃美枝 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	駒宮優子 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	鵜飼喜久子 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	シャープ典子 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	小林みさ ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	高草環 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
理事	塚田友子 ✓		2024年4月1日から 2025年3月31日まで	無
監事	高草武臣 ✓		2024年4月1日から 2024年6月15日まで	無
監事	前田郁勝 ✓		2024年6月16日から 2025年3月31日まで	無

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	安藤直実	
2	伊藤妃美子	
3	上野妃美枝	
4	鵜飼喜久子	
5	駒宮優子	
6	シャープ典子	
7	高草環	
8	田口容子	
9	塚田 友子	
10	早川なおみ	
11	林 まなみ	
12	駒宮博男	
13	安田 志帆	
14	高草 武臣	
15	前田 郁勝	